

相談支援機関へのアンケート調査

(ケアラー支援に係る実態調査票)

調査へのご協力をお願い

- ◎ケアラーの方々は、様々な負担があるにも関わらず、ケアラー支援の必要性に関する社会的な認知度が高いとは言えず、悩みを抱えたまま生活している場合が少なくありません。
- ◎このため、恵庭市は、ケアラーの方々を支援していくための施策を検討することとしました。
- ◎施策の検討に当たっては、ケアラー本人のほかに、現場でケアラーなどを支えている皆様の御意見も踏まえる必要があると考えており、この度、ケアラー本人とともに、相談支援機関の皆様を対象に実態調査を行うこととしましたので、本調査への御協力について、よろしくお願いいたします。

<こんな方がケアラーです (イメージ) >



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

(出典 一般社団法人日本ケアラー連盟)

「ケアラー」とは、高齢、身体上又は精神上的の障害又は疾病等により援助を必要とする親族、友人、その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する方を指します。

なお、本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の若者のことを「ヤングケアラー」と言いますが、各設問中の「ケアラー」については「ヤングケアラー」も含まれるものとして御回答ください。

調査に関するお知らせ

- ◎調査は無記名で行います。回答は任意となっておりますが、大切な調査ですので、可能な限り御協力をお願いいたします。
- ◎答えにくい質問は、答えなくても構いません。無理のない範囲で御回答をお願いいたします。
- ◎回答については、該当番号・項目を○で囲むほか、記述での回答をお願いしております。
- ◎回収した調査票は厳重に取り扱い、集計後は速やかに破棄します。
- ◎集計はデータを統計的に処理して行いますので、事業所が特定されることはありません。
- ◎集計結果は恵庭市のホームページなどで公表します。調査結果は今後のケアラー支援施策のために生かしてまいります。

返送・回答期限：令和5年2月28日（火）

○URL <https://www.harp.lg.jp/1GZAPHTK>



(お問い合わせ先及び返送先)

恵庭市保健福祉部 福祉課 〒061-1498 恵庭市京町1番地

電話：0123-33-3131 (内 1213) メール：fukushi@city.eniwa.hokkaido.jp

I. 基本情報

問 1 事業所種別を教えてください。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 地域包括支援センター | 4. 居宅介護支援事業所 |
| 2. 障がい者総合相談支援センター | 5. 相談支援事業所 |
| 3. 社会福祉協議会 | 6. その他 () |

問 2 ご回答いただく方の職種を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. センター長・管理者
2. 保健師（看護師）
3. 社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士
4. (主任) 介護支援専門員
5. (主任) 相談支援専門員
6. (主任) 相談支援員
7. 就労支援員
8. その他の職種

II. ケアラーからの相談について

問 3 貴センター・事業所におけるケアラー支援に関する認知度を教えてください (あてはまる番号 1 つに○)。

1. 全ての職員が知っている
2. 多く（半数以上）の職員が知っている
3. 一部の職員は知っている
4. いずれの職員もあまり知らない
5. 知らない

問 4 令和 3 年度に、ケアラーなどから受けた相談件数などを教えてください。

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 相談延べ件数の総数 | () 件 |
| (1) うち家族介護者からの相談 | () 件 |
| (2) うちケアを必要とする本人からの相談 | () 件 |
| (3) うち家族介護者及びケアを必要とする本人の両方からの相談 | () 件 |

※ 1 家族以外の人や近所の人からの相談は(1)に含まない。

2 (3) の記載に当たっては、1 つの相談案件について、家族介護者及びケアを必要とする本人の両方からの相談件数を集計している場合に記載するものとし、その場合(1)と(2)に相談件数の記載は不要となります。(重複回答となるため)

3 相談件数を把握していない場合は空欄でも差し支えありません。

Ⅲ. ケアラーに関する支援について

問5 ケアラー本人への直接的な支援として、ケアが必要な人をサービスに繋げることに以外に、どのような支援を行っていますか（あてはまるもの全てに○）。

1. 家族介護者に対するアセスメントの実施
2. 家族介護者に対する自己チェック票[※]の配布
3. 相談しやすい日時や場所での相談窓口の設置（なんでも相談会など）
4. 介護に関する知識や技術を伝える取組
5. 介護者サロンの設置（居場所づくり、レスパイトケア）
6. ケアラー同士の交流会の開催
7. その他
8. 行っていない

【1～7の具体的な内容を記載してください】
・ 1…
・ 2…
・ 3…
・ 4…
・ 5…
・ 6…
・ 7…

※ 自己チェック票～ケアラー本人が、家族のケアをしている自分の体調や気持ち、考え方を、ケアマネージャーなどの相談職員に伝えるためのチェック票（家族介護者支援マニュアル（厚生労働省：平成30年3月））

問6 問5でお答えいただいた直接的な支援以外で、ケアラー支援として、どのようなことが必要だと思いますか。また、必要な支援を実現するために恵庭市が取り組むべき事項は何だと思いますか（あてはまるもの全てに○）。

- (1) どのようなことが必要だと思いますか。
1. ケアラー支援に関する理解の促進
 2. 支援が必要なケアラーの早期発見と相談支援
 3. 関係機関の連携などによる地域の支援体制の整備・サービス基盤の整備
 4. ケアと仕事などの両立支援
 5. その他

【1～5の具体的な内容を記載してください】
・ 1…
・ 2…
・ 3…
・ 4…
・ 5…

(2) (1)の支援を実現するため、恵庭市が取り組むべき事項は何だと考えますか。

1. 市民のケアラー支援に関する意識醸成（認知度の向上）
2. 支援が必要なケアラーの早期発見に向けた相談窓口の設置、相談に応じる人材の養成・確保
3. 関係者間のネットワーク構築・介護保険や障害福祉サービスの整備
4. 職場の理解
5. その他

【1～5の具体的な内容を記載してください】
・ 1…
・ 2…
・ 3…
・ 4…
・ 5…

IV. 支援に繋がっていない事例への対応について

問7 介護や看病、療育などのケアを必要としている人が、そもそも相談に繋がらない理由については、何であると考えていますか（あてはまるもの全てに○）。

1. 家族がケアをするのが当たり前だと思っている（ケアを必要とする人がサービス利用の希望がない）
2. 家族で支えられると考えている（家族がケアをするのでサービス利用の必要がない）
3. 公的サービスを知らない
4. その他

【1～4の具体的な内容を記載してください】
・ 1…
・ 2…
・ 3…
・ 4…

問8 令和3年度において、貴センター・事業所が受けた相談の中で、ケアを必要としている人が、公的サービスの利用に至らなかった事例はありますか（あてはまる番号1つに○）。

1. ある
2. ない

問9 問8で「ある」と回答したセンター・事業所に伺います。

相談に繋がったにも関わらず、公的サービスの利用に至らなかった理由は何ですか（あてはまるもの全てに○）。

【ケアを必要としている側の理由】

1. 家族によるケアを望んでいる
2. 家族がケアをするのが当たり前だと思っている
3. 家庭内の問題を他人へ相談することに戸惑いや抵抗感を持っている
4. 公的サービスの内容を理解していない

5. 公的サービスを利用する場合に経済的な不安がある

【ケアをしている側の理由】

6. 家族で支えられると考えている

7. 家族がケアをするのが当たり前だと思っている

8. 家庭内の問題を他人へ相談することに戸惑いや抵抗感を持っている

9. 公的サービスの内容を理解していない

10. 公的サービスを利用する場合に経済的な不安がある

11. 地域のサービス提供体制が不十分

12. その他

【1～12の具体的な内容を記載してください】
・ 1…
・ 2…
・ 3…
・ 4…
・ 5…
・ 6…
・ 7…
・ 8…
・ 9…
・ 10…
・ 11…
・ 12…

問10 支援に繋がりにくい家庭を支援に結びつけるために、どのようなことをしていますか(どのようなことが必要だと考えていますか) (あてはまるもの全てに○)。

1. ケアラー支援に対する社会的認知度の向上
2. センター・事業所職員のケアラー支援に関する理解の促進
3. 関係機関（行政や地域包括支援センター等）と連携した支援ニーズの把握
4. 民生委員・児童委員や自治会、ボランティア団体等の身近な支援者からの情報取得
5. 電話連絡や家庭訪問の実施
6. 本人や家族に対し、支援が必要なことを理解してもらう
7. その他

【1～7の具体的な内容を記載してください】
・ 1…
・ 2…
・ 3…
・ 4…
・ 5…
・ 6…
・ 7…

問11 ケアラー支援を充実させるために必要だと考えていることがあれば記載してください。

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

- * 本調査は、皆様方の御意見などを具体的にお伺いするために、自由記載欄を多くしております。
- * ケアラー支援をきめ細やかに実施していくために、皆様方の貴重な御意見を正確に把握したいと考えておりますので、本調査への御協力をお願い申し上げます。